

奥武蔵の紅葉を見に行こう 武川岳～二子山

実施日 2017年11月4日(土)
 天候 晴れ後曇り
 リーダー 白石 恵美子
 参加者 涌井良明、島本陳重、白石恵美子、渋谷京子、宇野輝代、小名秀鋭、瀧澤きよの、宮崎敏男、橋口美鈴 計9名
 費用 西武池袋線 940円(池袋起算)、
 810円
 タイム 名郷BS(8:40-8:47)登山口(9:31)天狗岩上(10:32-10:34)前武川岳(11:16-11:25)武川岳(11:38-12:17)焼山(13:08-13:17)二子山雄岳(13:57-14:05)二子山雌岳(14:13-14:17)芦ヶ久保駅(15:16)
 行動時間 6時間29分
 歩行時間 5時間20分

ほぼ1ヶ月ぶりに晴れの週末となり、名郷BSにこぶし会の精鋭?9名が降り立つ。バス停から橋を渡って、妻坂峠への林道を2分程歩き、民宿、西山荘の看板の所を右に曲がるべきだったが、なぜか曲がらずに真っ直ぐ行ってしまい、途中で戻る羽目に!!西山荘まで戻り、25分程ロスをしたが、気を取り直し、歩き始める。



いつもの事だが確認不十分で申し訳ない。4分程行くと「武川岳→」と書かれた小さな木の板が竹の棒に括り付けられた標識があり、それに従って更に車道を15分ほど進むと、「武川岳、天狗岩方面」の標識があり、石段を登り、山道に入る。

暗い植林帯を抜け、岩がゴロゴロした道を経て、天狗岩の下に出る。「天狗岩(男坂、女坂)」の標識がある。

今日は精鋭揃い?なので、迷わず男坂を登り始める。15分弱で天狗岩頂上に着く。そこから暫くは緩やかな道だが、その後、鹿よけのネットに沿って急登を経て前武川岳に着く。



ここは開けていてベンチがあり、一息入れる。ひとふんばりで武川岳に着く。山頂は広くベンチもあり、昼食には最適だ。



快晴ではない方が奥多摩の山々が美しく美しい。(遺影?)写真撮影、「二子山」の標識に従い、北へ。

急な下り、小さな登り下りの連続で、木の枝などに掛まり慎重に。カラマツの黄葉が綺麗だ。

やがて焼山に着く。無残に山肌を削られた武甲山が臨める。ここから最初は岩場と滑りやすい急降下が続くが、その後、暫くは快適な稜線歩きを経て、二子山への登りに取っかかる。今日の一番の急登だ。疲れた体と脚に鞭打って二子山雄岳に到着。



広いが暗くて展望はない。二子山雌岳は目と鼻の先だ。ここから芦ヶ久保駅までの下りは尾根道と沢道と二つあり、標識によると沢道の方が20分程短い(地図では同じ)のと、この前、尾根道は歩きづらかったため、沢道を下ることにする。

最初だけすごく急で、ロープの助けを借りて下るが、その後は歩きやすく、紅葉・黄葉を楽しみながら下る。沢を何度か渡り返して更に下ると芦ヶ久保の駅が見えてきた。線路の下をくぐり、道の駅に到着。



今日の山行は無事終了。

参加された皆様、お疲れ様でした。キャッチコピー通り、紅葉を楽しめましたか。未熟な迷リーダーにまたお付き合い頂ければ嬉しいです。ありがとうございました。

(記・白石 恵美子)
(写真提供・涌井 良明)